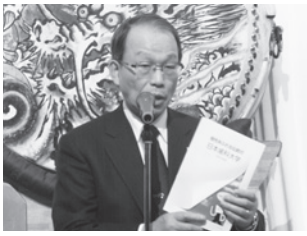
平成28年
神奈川県校友会会員顕彰式・新入会員歓迎式及び新年会

平成28年２月６日（土），横浜中華街にあるローズホテル横浜において平成28年神奈川県校友会会員顕彰式・新入会員歓迎式及び新年会が開催された。

神奈川県校友会では平成25年より神奈川県出身の学生を新年会に招待する取り組みを始めた。１年目は参加してくれた学生は１名だけであったが，２年目に５名，３年目には12名，今年は総合試験前にも拘わらず21名の学生だけでなく４名の研修医の参加も得て，数年前の新年会の風景とはうって変わりフレッシュな楽しい新年会を催すことができた。このことがきっかけとなり，長らく休眠状態であった学生による県人会を昨年度より復活，開催することができ，我々校友会も陰ながらサポートを行っている。

年々参加する学生が増えているということは，学生からの評判も上々と都合よく解釈させてもらっている。課題としてはまだ新潟生命歯学部の学生の参加はないので，物理的距離の問題もあるが何とか新潟までこの輪を広げ，来年はより多くの学生，研修医の参加を実現できるよう知恵を絞っていきたい。（これを見た神奈川県出身の新潟生命歯学部の学生さん，もし興味がありましたら ryuji_horimoto@me.com までご一報ください！）実際，学生や研修医が参加してくれることで，神奈川県校友の新年会への参加も増えてきている。この取り組みの先に将来我々とともに楽しく活動していける校友が１人でも増えることを祈り，今後も継続して取り組んでいきたい。

平成 28 年神奈川県校友会会員顕彰式・新入会員歓迎式及び新年会
平成 28 年２月６日　於　ローズホテル横浜



近藤校友会会長

藤井神奈川県校友会会長

倉治専務理事

◆受賞会員顕彰式・新入会員歓迎式

新年会に先立ち上記式典が開催された。はじめに国会会期中にもかかわらず駆けつけていただいた西村まさみ参議院議員・校友会本部副会長（78回）が挨拶に立ち，次期参院選出馬にあたって校友への協力と支援が要請された。続いて藤井達士神奈川県校友会会長（67回）は９名の受賞会員に対し「これから続く校友の模範となっていただきたい」とお祝いの言葉を述べられ，次に新入会員に対して「困ったことがあればいつでも先輩を頼って欲しい。高齢化の進む校友会の若返りに力を発揮してもらいたい」と結ばれた。

その後，受賞会員に記念品が手渡され，受賞会員を代表して佐藤信男氏（38回）が挨拶に立ち，「今後も歯科界のために精進したいと思う」と謝辞を述べた。

続いて新入会員の紹介と記念品贈呈の後，新入会員を代表して山口知孝君（98回）が「昨年10月に開業したばかりですが，地域と校友会のために尽力していきたいと思うのでご指導の程，よろしくお願いいたします」と挨拶すると会場から大きな激励の拍手が沸き起こった。

◆新年会

百瀬秀樹県校友会専務理事（74回）司会のもと，まず校歌斉唱があり，はじめに藤井県校友会会長が挨拶を行った。続いて来賓の近藤勝洪校友会会長からは日本歯科医師会，日本歯科医学会，日本歯科医師連盟，日本学校歯科医会と本学卒業生がリーダーとなる輝かしい現状と，次期参院選を含めた今後の動向について話された。その後，倉治康男校友会専務理事（62回）が本学卒業生としての心構えや先輩，後輩について，母校の伝統これからの未来についてを参加した学生・研修医に向けて熱く語られた。

そして髙橋韶光氏（48回）の乾杯でいよいよ宴は始まった。昨年の妖艶な女性たちによるベリーダンスとは打って変わり，今年の余興は和太鼓演舞チーム「ＴＡＫＥＲＵ」による猛々しい筋骨隆々な男達によるダイナミックな演舞であった。その後各テーブルで話の輪が咲き，楽しい時間はあっという間に過ぎ，最後は藤下義輝理事（78回）から力強いエールが送られ，平成28年新年会は楽しくも厳かに締めくくられた。

（金安拓朗・83回記）